

国立大学法人総合研究大学院大学経営協議会（第30回）議事要旨

平成25年6月17日(月)

15時00分～17時13分

ホテルフロラシオン青山「クレール」

(審議事項)

(1)平成24年度事業年度に係る業務実績報告書について

赤塚委員より、資料2-1及び資料2-2に基づき、下記平成24年度業務実績の主要な点について説明がなされた。

- ①教育研究等の質の向上の状況
- ②組織運営の改善及び効率化
- ③財務内容の改善
- ④自己点検・評価および情報提供

審議の結果、原案のとおり承認された。

(2)平成24年度決算について

池内委員より、資料3-1及び資料3-2に基づき、平成24事業年度決算の「貸借対照表」「損益計算書」の主な増減、財務分析による教育経費比率、研究経費比率、外部資金比率、一般管理費、電力量、収入・支出決算、外部資金等について説明がされた。また、独立監査人の監査報告書について監査法人から特に問題がない旨の報告を受けていることの説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(3)大学機関別認証評価自己評価書案について

赤塚委員より、資料4-1及び資料4-2に基づき、大学機関別認証評価について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(4)特任教員就業規則の一部改正について

長野委員より、資料5に基づき、特任教員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(5)役員退職手当規則の一部改正について

赤塚委員より、資料6に基づき、役員退職手当規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(6)平成26年度概算要求について

池内委員より、資料7-1～7-4に基づき、平成26年度概算要求について、特別経費の要求を中心に説明があった。

- ①新規要求としては、学長イニシアチブ事業「人間の総合性と汎用力強化推進プログラム」、脳科学の後継としての「脳科学における超大規模イメージングデータを用いた脳の機能と形態を解析できるブレインデータアナリストの人材養成プログラムの構築」の2本。
- ②継続分のプロジェクトは「国際的視野」「科学知」「統合生命科学」「物理科学研究者の育成」「人文研究者」の5本。
- ③基盤的設備等整備分としては、先導科学研究科より高解像度神経活動及構造解析システム、日本歴史研究専攻（国立歴史民俗博物館）から原子吸光分析装置。いずれも教育用設備としての要求。
- ④施設整備事業としては、講堂の吊り天井の耐震補強に係る工事費を要求。
- ⑤財務・経営センター施設費交付事業（営繕費）は、毎年度11,000千円交付されているが、平成26

年度要求内容としては、耐用年数を過ぎている葉山本部の冷温水機2号機冷却塔の改修費等を要求するものである。

さらに、富永教授から、新規要求である「脳科学における超大規模イメージングデータを用いた脳の機能と形態を解析できるブレインデータアナリストの人材養成プログラムの構築」の概要について、簡単に説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(報告事項)

- (1) 平成24年度における資金運用について
- (2) 『総研大』『大学共同利用機関法人』発の論文調査報告(トムソン・ロイター社)について
- (3) 「卓越した大学院拠点形成支援補助金」について
- (4) 入学者等の推移について
- (5) 学位授与状況について
- (6) 総研大における学術交流ネットワークの現状について